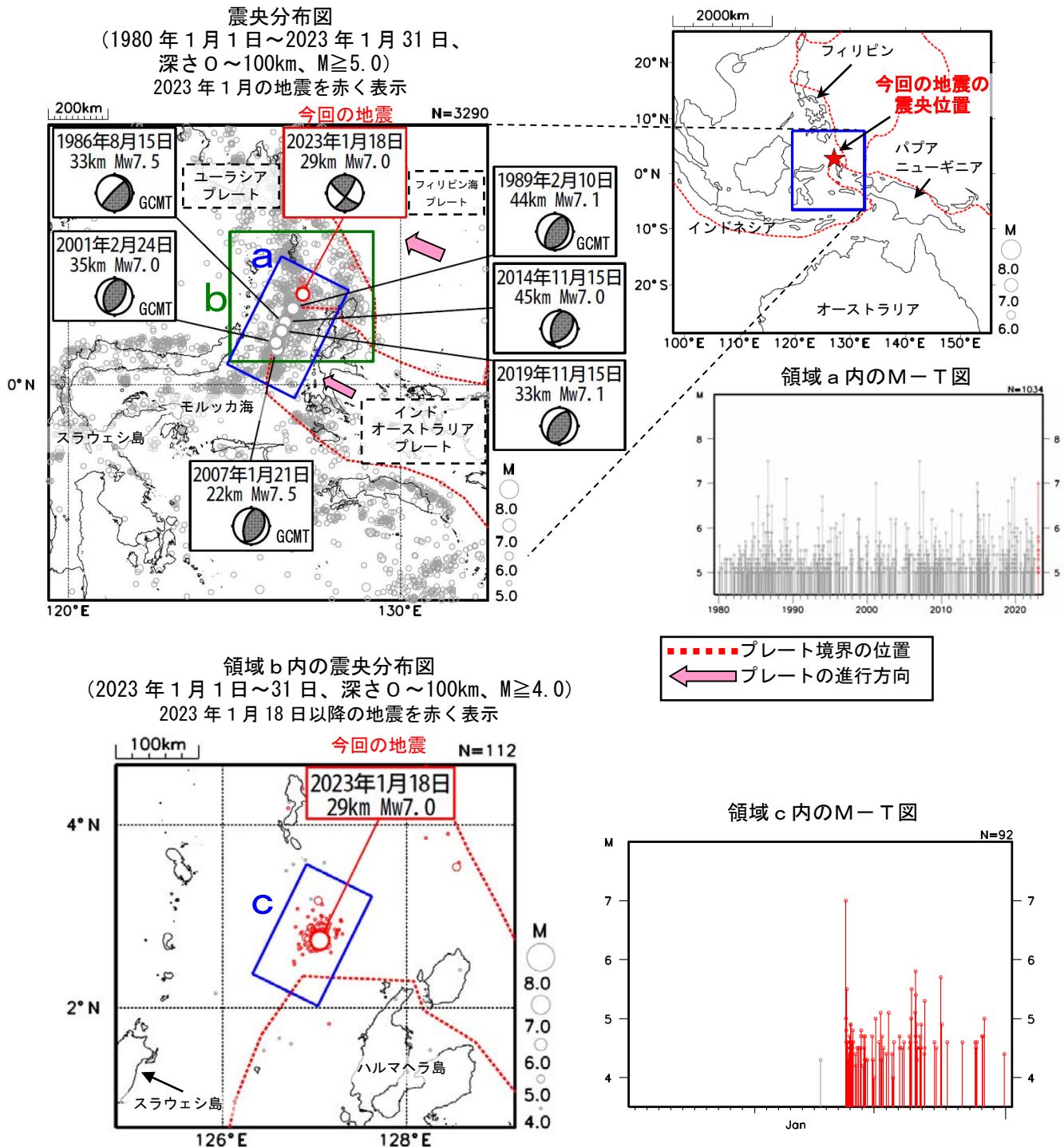


1月18日 モルッカ海北部の地震

2023年1月18日15時06分（日本時間、以下同じ）に、モルッカ海北部の深さ29kmでMw7.0（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日15時30分に遠地地震に関する情報（日本沿岸で若干の海面変動あり）を発表した。今回の地震の震央付近（領域c）では、この地震の発生後に地震活動が活発になり、M5.0以上の地震が11回発生している。なお、今回の地震による現地の被害は報告されていない。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M7.0以上の地震が時々発生しており、2007年1月21日に発生したMw7.5の地震では死者3人、負傷者4人などの被害が生じた。



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2023年2月2日現在）。ただし、吹き出しのある地震のうち、「GCMT」が付いた地震の発震機構とMwはGlobal CMT、その他の地震は気象庁による。今回の地震の被害はOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所）による。2007年1月21日の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。

* 参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.